

エストレラ姫路、初の全国へ Jリーグユース



Jリーグユース選手権初出場を決めたエストレラ姫路のメンバー＝姫路市、新日鉄広畑グラウンド

サッカーJリーグユース、クラブチームの全国各地域代表の計18チームで頂点を争うJリーグユース選手権(12月2日開幕)に、兵庫のエストレラ姫路が出場する。18歳以下のユース年代チームを創設して5年目で、初めてつかんだ全国規模の大会切符。イレブンは大舞台での活躍を目指して張り切っている。(大盛周平)

■強豪に逆転勝ち、悲願

エストレラ姫路は2000年、姫路市内の高校指導者らが中心となって設立。2年後にユースチームができ、プリンスリーグ関西に参加するなど、兵庫を代表するクラブとして活躍してきた。

全国級大会出場にはなかなか届かなかったが、11日の地域代表決定戦西日本地区プレーオフで、アミーゴス鹿児島(九州

地区代表)を2-1で下して念願をかなえた。高校サッカーの名門・鹿児島実高を破ったことのある強豪相手に、先制されながらもFW吉田修平の2得点で逆転勝利。スタッフ、選手は号泣した。

吉田は「興奮していて(点をとった場面を)覚えていない」といい、松本真吾監督は「精神的に強くなったと思った」と振り返った。

西播、東播地区の高校から集う20人のメンバーは所属校がばらばら。全員が集まれる時間に練習するため、開始時間が午後5時半になるなど苦労も多い。それでも、持ち前のチームワークと競技への意欲で4-4-2システムの連係を磨いて組織力を向上させた。

初戦は12月9日に東京で、東京ヴェルディユースと対戦する。林孝彦主将は「このチームで全国で勝ちたい」と力を込める。

(11/28 09:59)